

# 重点支援地区支援状況表

資料2

No.	市町村名	地区名	分類	選定	区分	日程	対応者 (PT)	対応者 (市町村)	参加者 (地区)	支援(協議)内容	決定事項・課題・今後の方向性	備考
1	浜田市	美又	A 緊急性	2/22	1	6/21	西部県民 安食、三島 中山間C 安部	金城支所 河内係長 井上主任	なし	・総務省補助事業による加工品開発の進捗状況を確認。 ・その他地域の課題について意見交換。 ・加工品開発について、インターネットで検索した施設を視察先候補として紹介。	・「美又湯気の里づくり計画」に基づき、今年度は地域活動拠点の整備、農産品の生産体制強化、特産品開発によるなりわい創出、交流促進によるにぎわい創出に取り組む。 ・7月4日 6次産業化先進地視察実施 ・豆腐加工試作実施 ・地区ガイドマップ作成委員会開催	6～7合目
						7/2	西部県民 安食	金城支所 河内係長 河野マネージャー	美又夢エイト 佐々原理事長	・「美又湯気の里づくり計画」を推進する実行組織としてNPO法人を立ち上げる。加工品開発や地域振興施設の管理運営に取り組む。 ・ふるさと島根定住財団のNPO専門相談利用。 ・NPO法人設立に係る会計手続きや税務手続きについて協議。	・7月3日 「NPO法人美又夢エイト」法人登記(6月26日NPO法人設立認証)	
						8/1	西部県民 安食、三島 中山間C 安部	金城支所 河内係長 井上主任	なし	・総務省補助事業による加工品開発の進捗状況を確認。 ・その他地域の課題について意見交換。 ・NPO法人の経営計画について、経営支援課が現場支援を実施。	(課題) ・関係部局(6次産業化)職員の現場支援参加 ・観光部局と連携した温泉を活かしたにぎわいづくりの創出	
2	出雲市	窪田★ 須佐★	C お手本 D 自立	2/22	1	8/8	しま暮 笠松 中山間C 有田、吉田	自治振興課 安田、三島 農業振興課 金築 佐田支所ほか	なし	・地域内でコミュニティビジネス可能性調査(地域内資源、住民ニーズ調査等)を実施 ・橋波地域他1箇所へしまね地域づくり活動体験事業を活用して今年度外部人材を導入したい。 ・地域交通に関して、市交通対策課の方針が見えないため停滞中 ・大社高校佐田分校H27.3月末で廃校、廃校活用について地域で検討会立上げ。	・9月にフロンティアアグリネット研究会を開催、コミュニティビジネス可能性調査の第1次取りまとめ報告を実施予定。 ・H26.1月の広島フェアへ未来サポートさだが出店予定。 ・未来サポートさだのHP開設、ネット販売開始に向けて検討中。 ・廃校活用についてはH26.3月までに活用の有無を決定予定。 ・地域交通については停滞中。 ・次回は9月5日に行う。	6～7合目
3	江津市	黒松★	C お手本	2/22	1	7/17	西部県民 安食、三島 中山間C 伊藤	政策企画課 無川係長	黒松自治区 灘会長、舟木マ ネージャー	・自主防災活動は、地区組織が機能し積極的な活動が展開されている。 ・地区の既存行事や活動がスクラップできないまま、新しい活動が増加しており、運営体制は限界にきている。 ・地元海産物の加工品づくりは、「いきがい」と「なりわい」で地区の意見が分かれ活動の方向性がまとまっていない。	・地域計画の見直しには、島根大学の諸岡教授が関わっており、その進捗に合わせた支援を行う。 ・当面、地区活動を維持するために必要なマンパワーの確保について支援する。(U・Iターン者等)	6合目
4	雲南市	吉田★	A 緊急性	2/22	2	7/5	しま暮 田中、樋野 中山間C 藤田	政策推進課 加津山、板持、石田 大東総合C 福間 吉田総合C 杉原 三刀屋総合C 川上、古瀬	地域おこし協力 隊 浜崎	(雲南市地域おこし協力隊連絡会) ・民谷地区の地域自主組織設立に向けた準備委員会・幹事会で、進め方検討。次の委員会で最終決定。 ・7/14先進地視察(谷、入間、波多)を実施予定 ・学生ゼミによる研究等の実施(島大、県大、早稲田大学) ・吉田地区振興協議会の次期地区計画検討に当たりアンケート及びヒアリング実施予定(8月)	・自主組織の設立に向けて、活動内容・組織体制の本格的検討スタート ・月1回開催される地域おこし協力隊連絡会を通じて、状況の把握等を行う。 ・折を見て、準備委員会に参加。	5合目
						7/31	中山間C 藤田、空閑	1名	準備委員会委員 18名 地域おこし協力 隊 浜崎	・自主組織の活動内容について検討	・中間報告をまとめ、広報誌にして配布 ・サロン活動を試行的に実施	
						8/6	しま暮 田中 中山間C 藤田	吉田総合C 梶薦	吉田地区振興協 議会 会長 錦織 集落支援員 他協議会評議 員・理事 地域おこし協力 隊 浜崎	(吉田地区) ・人口データの状況 ・地区計画の作成手順確認 ・住民アンケート内容の検討	(吉田地区) ・地区計画作成手順了承 ・住民アンケートを実施(8月8日から・全住民)	
						8/9	しま暮 田中、樋野 中山間C 藤田	地域振興課 加津山、板持、 石田 大東総合C 福間 三刀屋総合C 古 瀬	地域おこし協力 隊 浜崎	(雲南市地域おこし協力隊連絡会) 【民谷地区】 ・先進地視察実施(入間、波多、谷) ・自主組織設立準備 来年度の事業アウトラインについて協議中。 (福祉。生涯学習の分野で活発な議論) ・うんなんdeアートin民谷実施 (早稲田大学古谷研究室、県市内外クリエイター) 【吉田地区】 ・次期地区計画策定に向けてアウトライン決定 ・全住民アンケート実施中 ・島大生物資源科学部 農村実習受入	・月1回開催される地域おこし協力隊連絡会を通じて、状況の把握等を行う。 【民谷地区】 ・組織体制の検討が次大きなテーマ(視察先を参考に) 【吉田地区】 ・アンケート回収	

No.	市町村名	地区名	分類	選定	区分	日程	対応者 (PT)	対応者 (市町村)	参加者 (地区)	支援(協議)内容	決定事項・課題・今後の方向性	備考
4	雲南市	吉田★	A 緊急性	2/22	2	8/11	しま暮 田中、樋野	政策推進課 加藤 地域振興課 加津山 吉田総合C 杉原	準備委員会会長 後継者会他	・県内外のクリエイターを集め、旧民谷分校でアートによる地域づくりについて、ミニシンポジウム及びワークショップ		
5	雲南市	塩田★	A 緊急性	2/22	2	7/5	しま暮 田中、樋野 中山間C なし	地域振興課 加津山、板持、 石田 大東総合C 福間 吉田総合C 杉原 三刀屋総合C 川 上、古瀬	地域おこし協力 隊 三瓶	(雲南市地域おこし協力隊連絡会) ・地区計画の見直しに向け、地区計画策定委員を各自治会各年代男女から選出中。 ・交流センター主事主体から、振興会主体のイベント実施の体制へ。 6/29, 30に地域振興部主催イベント実施。	・月1回開催される地域おこし協力隊連絡会を通じて、状況の把握等を行う。 ・計画策定委員選定後、第1回の会合に参加。	3～4合目
						8/9	しま暮 田中、樋野 中山間C 藤田	地域振興課 加津山、板持、 石田 大東総合C 福間 三刀屋総合C 古 瀬	地域おこし協力 隊 三瓶	(雲南市地域おこし協力隊連絡会) ・県大鹿野ゼミが卒業PJで塩田をフィールドワーク(いいとこマップづくり他) ・塩田サマースクール ・地区計画策定委員 8/10の地区委員会で委嘱予定	・月1回開催される地域おこし協力隊連絡会を通じて、状況の把握等を行う。 ・計画策定委員選定後、第1回の会合に参加。(9/14)	
6	飯南町	谷★	B 潜在力	2/22	1	7/10	しま暮 樋野 中山間 小村、藤田、 伊藤	鳥屋ヶ原主幹	澤田会長	・各部会の会合に参加し、会長の描く将来像とメンバーの想いに若干ずれがあるように感じられた。そのギャップを埋めるべく会長との話し合いの場を設けた。 ・自治会輸送の今後 ・各部会の活動の共有	・一足飛びに「コミュニティビジネスの立ち上げ」とは行かない。先ずは小さくとも活動を始めてみるのが大切とのこと。各部会の活動が会長のイメージとずれているということではない。 ・閉校後の地域づくりとして、地域で子どもに体験をさせるだけではなく、学校の行事として地域が関わる動きがほしいという会長の思い。	6～7合目
						7/19 7/25 8/2	中山間 伊藤	なし	公民館 門協主事 清流クラブ 永井会長 地域おこし協力隊	地域関係図作成のための聞き取り調査		
						8/1	しま暮 樋野 中山間 小村	鳥屋ヶ原主幹	ゆず舟亭メン バー5名	・5月に開催したバイキング給食の振り返り ・年度後半の活動計画	・次回バイキング給食は10月5日に実施 ・ゆず加工品(ぼんどーれ、シロップ煮)は関わる人を広げて実施 ・農技Cからぶどうジャムの製作依頼あり。地元菓子店への販路は確保済み。詳細を確認 ・8月19日から法政大図司ゼミ生が来校	
7	美郷町	別府★	C お手本	2/22	1	7/31	しま暮 青木陽 中山間研究C 藤田、 岸本 西部県民C 河野	なし	樋ヶNPO法人理 事長、樋ヶ連合 自治会長、樋ヶ 副町長、岩根町 議、原集落支援 員	・PTの方針説明、現在の進捗状況や今後の取組についての聞き取り。 (交付金の使途、空き家のこと、協力隊のこと、農林業体験事業の実施を検討中)	・長野県の農業生産法人が実施している、農林業体験事業に取り組みたい考え。近日中に視察を検討している。 ・農林業体験事業を実行することになれば、そのサポート。 ・随時、キーマンらに聞き取りを行う。	6～7合目
8 9	津和野町	青原★ 畑迫★	C お手本 A 緊急性	2/22	1	7/5	西部県民 三島 中山間C 檜谷	つわの暮らし推 進課 内藤課 長、清水係長	なし	・各地区まちづくり委員会からH26事業計画が町に提出 ・今後の予定と実施内容を確認 (7/19青原地区説明会・7/25未来づくり協働会議)	・青原地区説明会での説明内容(PT事業概要〔地区担当〕と地区の状況〔中山間C〕)の確認 ・畑迫地区説明会は7/25会議時等に調整	1合目
8		青原★	C お手本	2/22	1	7/19	西部県民 三島 中山間C 藤山、檜谷	つわの暮らし推 進課 内藤課 長、赤松補佐	地区委員会 役員15名程度	(地区説明会・意見交換会) ・地域自治組織の必要性と事例紹介 ・人口の将来予測 ・町から「つわの暮らし推進住宅整備事業」説明	・買い物不便対策を柱に支援の方向 ・町の「つわの暮らし推進住宅整備事業」に高い期待をもつ	
		全体				7/25	西部県民 三島	副町長 つわの暮らし推 進課 内藤課 長、赤松補佐、 清水係長	まちづくり委員 会会長12名 商工会・婦人 会・JA・郵便 局・銀行 代表	・役場からのH24実績及びH25計画説明、報告 ・「地域提案型助成事業」説明(改善点・スケジュール) ・「つわの暮らし推進住宅整備事業」説明(考え方・スケジュール)	・新しい取り組みで、H24年度途中の交付であったため、住民の合意形成が厳しかった ・8月下旬～9月上旬に各12地区町長・副町長が出向く意見交換会を開催予定	牛山明治大学 教授アドバイザー参加

No.	市町村名	地区名	分類	選定	区分	日程	対応者 (PT)	対応者 (市町村)	参加者 (地区)	支援(協議)内容	決定事項・課題・今後の方向性	備考
10	益田市	全体	A 緊急性	3/28	1	6/24	西部県民 三島 中山間C 藤山、檜谷	地域振興課 椋木補佐、岡崎 係長 美都総合支所 岩井主任 匹見総合支所 佐々木補佐	なし	(事業推進合同会議) ・益田市で過疎債ソフト交付金事業を実施している5地区【種・真砂・ 二条・都茂・匹見下】の状況報告とスケジュール確認	・各地区ごとの「公的支出一覧(農林・土木・福祉等)」を作成 ・職員の地域担当制や公民館の在り方について検討の必要あり	
		全体				7/19	西部県民 三島 中山間C 藤山、檜谷	地域振興課 山本課長、椋木 補佐、岡崎係 長、渡邊主任主 事 美都総合支所 岩井主任	なし	(事業推進合同会議) ・益田市で過疎債ソフト交付金事業を実施している5地区【種・真砂・ 二条・都茂・匹見下】の状況報告とスケジュール確認	・H25にH26以降の市の組織体制を確立させる必要あり ・地域力アップ応援隊員の「スキルアップ」・「キャリア形成」が課 題…任用期間(3年)満了の隊員の「地域マネージャー」への移行?	
		全体				7/24	西部県民 三島 中山間C 藤山、檜谷	地域振興課 椋木補佐、岡崎 係長、渡邊主任 主事 美都総合支所 岩井主任	各地区地区振興 センター長と地 域力アップ応援 隊	(地域力アップ応援隊員連絡調整会議) ・各地区で作成した「地元関係図」と「公的支出一覧」により各地区の 状況を把握		
		真砂★				8/5	西部県民 三島	地域振興課 岡崎係長、山下 主任	真砂人 <sup>〃</sup> 会長、 大庭地区振興セ ンター長、ほか 役員4名	・市が実施する地域自治組織設立支援事業と中国地方知事会共同研究モ デル事業の実施体制・内容の方向性を確認	・各事業の概略(視察・買い物不便対策の検討・地域のこどもと経済 活動体験・コミュニティバスの検討)	3合目
		真砂★				8/8	西部県民 三島 中山間C 藤山、檜谷	地域振興課 岡崎係長、山下 主任	真砂人 <sup>〃</sup> 大庭地 区振興センター 長、ほか役員3 名	・中国地方知事会共同研究モデル事業の実施体制・内容の方向性を確認	・概ね協議内容での実施とする	
11	大田市	北三瓶	A 緊急性	6/25	2	7/16	西部県民 岸野 中山間C 藤田、岸本	まちづくり推進 課 森山主幹	北三瓶よろず会 大谷会長外1名	ハザードマップ作成のワークショップ進行方法の打合せ。	ワークショップ当日の進行方法。	6～7合目
						7/23	西部県民 岸野 中山間C 安部、藤 田、岸本	まちづくり推進 課 森山主幹 危機管理室 勝 部補佐	北三瓶よろず会 大谷会長外18名	地区に分かれてワークショップ実施。	今後、各役員が自治会に持ち帰りハザードマップ作成作業実施。	
						7/29	西部県民 岸野 中山間C 藤田	まちづくり推進 課 森山主幹、 森山定住支援員	なし	北三瓶地区PTメンバーめあわせ(チェックリスト確認)	「次世代の定住」に取り組むことについて、大田市側担当者と意識を 共有し、地域の情報収集等に協力を得られることを確認した。地域 (よろず会)へは、まず会長へ説明し意見交換してから、話を出すタ イミングを計っていく。	
						8/6	しま暮 青木悟 西部県民C 岸野 中山間研究C藤田、岸 本	大田市 森山主 幹、森山定住支 援員	北三瓶よろず会 大谷会長外2名	定住を最終目標とした地域づくりについて説明	今後、地域の主要団体(佐津目子ご美会、百姓天国等)の代表者に 定住促進について説明。 その後、再度、大谷会長等と協議。	
12	安来市	山佐	C お手本	6/25	2	7/4	しま暮 荒木 中山間C 安部、赤池	定住企画課 佐 伯主幹、広瀬交 流センター 金 田主事ほか	なし	・重点支援地区に選定されたことを再確認 ・次世代定住、定住必要組数について情報共有 ・事業の取組の経過、各分科会での協議内容を報告	・ある程度中長期的な目標、スケジュール感をもって進めること ・定期的に全体会を開いて情報共有すること ・分科会の議題によっては、もう少し詳しい現状分析が必要	6合目
12	安来市	山佐	C お手本	6/25	2	7/26	しま暮 荒木 中山間C 安部、赤池	定住企画課 佐 伯主幹、広瀬交 流センター 金 田主事ほか	7名	(分科会リーダー・サブリーダー会) ・各分科会の活動状況を報告	・8月2日に全体会を開催し、各分科会の活動状況を全員で 共有する。→全体会は定期的に開催する。	

No.	市町村名	地区名	分類	選定	区分	日程	対応者 (PT)	対応者 (市町村)	参加者 (地区)	支援(協議)内容	決定事項・課題・今後の方向性	備考
						8/2	しま暮 荒木、樋野 中山間C 安部、赤池	定住企画課 佐 伯主幹、広瀬交 流センター 金 田主事ほか	約30名	(全体会)・各分科会の活動状況を報告 <生活>買物対策の一環として9月23日に『生協まつり』を開催。 これに合わせて、地元産の野菜や花を直販を実施。 <産業>上山佐ブランドPR用『イメージキャラクター』の募集。 <文化・交流>『上山佐ふるさとカレンダー』の作成。	・定期的に全体会を開催し、情報共有と連携を深めながら各分科会の 事業を進めること。 ・いい時期に先進地に視察に行きたい。(視察先をPTに相談)	
13	飯南町	志々	A 緊急性	6/25	2	7/3	しま暮 樋野 中山間 藤田、伊藤 地域福祉 伊藤 松江県土 青戸	林主任	地区役員20名程 度	・ワークショップ「この10年で変わったこと」 ・各自治会ごとの課題の共有	・地区全体の意向の把握をどのように進めるか。 ・8月1日に次回を実施	3合目
						8/1	中山間 藤田、伊藤 地域福祉 伊藤 松江県土 青戸	林主任	大上会長、伊藤 主事ほか計約10 名	・ワークショップ運営支援(5年後、10年後の未来を考えて、これか ら“何ができなくなるか”“どうすれば「できなくなると思われること ができるようになるか”を考えると)	・次回は9月下旬に実施(9/18内定)、公民館・町・県での話し合いを 行う(8/26) ・計画策定後の実行体制(H26は公民館採用方法が変更され職員交代の 可能性がある。「志々を元気にする会」との統合も視野に入れるか) ・次回WS前後に視察を組む。	
14	川本町	北 (三原)	A 緊急性	6/25	2	7/12	西部県民 河野 中山間 有田、吉田	まちづくり推進 課 伊藤主幹、 横田主事	三原自治会、南佐 木自治会、田窪自 治会、親和自治会 各会長、副会長、 青年団長	・PT事業の説明、人口推計分析結果の報告、他地域事例の紹介 ・意見交換 (地域の将来について危機感を感じているが、具体的な問題や対策に ついて地域で話し合う機会がない。何をしたらいいか、方法もわからな い。今回の事業をきっかけに取り組んでいきたい。)	・三原地区を重点支援地区とすることで地域の役員らの了解を得た。 ・地域点検シートを各自治会に配布し、記入を依頼した。シート回収 後、各自治会にヒアリングを行い、状況や意向を探る。また、地域内 の会社、団体、組織にも随時ヒアリング調査を実施する。	3合目